



あらた 改めて「合理的配慮」について考える…

2024年4月より事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化されました。皆様の周りでは何か変化を感じられたでしょうか。先日、その効果ではと思う出来事がありました。友人たちと、とても人気のあるカウンター席が主のバーに、3名(内車いす使用者2名)で予約の電話をした時の事です。これまでなら「混んでいるから…狭いから…」と様々な理由で電話の時点で「車いすの方は難しい」と断られていました。しかし今回は「忙しい時はお手伝い出来ない…狭いかもしれないが大丈夫か…等」色々と聞かれましたが、最終的に「お席を確保しておくので、当日お越しになってみて下さい」と言われたのです。そして当日、私と友人たちは、バーで楽しい時間を持つことができました。

今回の事業者にむけた合理的配慮の義務化は「障害者の配慮を求める気持ち」の背中をお押し、事業者にとっては「障害者と対話する機会」をより増やしてくれる事と思います。

事業者への政府広報より抜粋:参考資料【障害者と対話する際にNGな考え方】

NG①前例がないので、対応できません!…合理的配慮の提供は個別の状況に応じて柔軟に検討する必要があるものであり、前例がないことは対応を断る理由にはなりません。

NG②障害のある人だけを特別扱いできません!…合理的配慮は障害のある人もない人も、同じようにできる状況を整えることが目的であり、「特別扱い」ではありません。

NG③もし何かあったらいけないので、対応できません!…漠然としたリスクの可能性だけでは断る理由にはなりません。どのようなリスクが生じ、そのリスクを低減するためにどのような対応ができるのかを具体的に検討する必要があります。

NG④△△の障害がある人には、対応できません!…同じ障害でも程度などによって適切な配慮が異なるので、ひとくりにせず、個別に検討する必要があります。

(理事長 鈴木 徳子)

経済的虐待に対する対応のご報告

改めて被害に遭われた皆様にお詫びすると共に、全ての方に被害金をお支払いすることができ、3月25日、立川市に最終報告書を提出致しました。

地域の皆様に信頼して頂ける自立生活センターとなるべく、改めて日々の活動、支援にまい進して参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

福祉ホットライン《障害者地域自立生活支援センター事業》2023年度事業報告

相談支援の傾向

新規の方からの相談も多く、ご本人・ご家族、支援機関の支援者等、様々な方からご相談頂きました。長年入所施設で過ごされていた身体障害・言語障害をお持ちの方より「施設を出て一人暮らしをしたい」とのご相談を受け、入所していた施設の職員・ご本人の補助人と連携しながら地域移行に向けた支援を行いました。自立生活開始後も関りを継続し、ヘルパー派遣事業所や医療機関等各種支援機関との調整、定期的なピア・カウンセリング等を通じてご本人の望む生活を作っていくよう引き続きサポートしています。

その他にも、家族からの自立に関わるサポート、障害状況や生活環境の変化に伴う制度利用の支援・関係機関等との調整、権利擁護に関する関り等、実施内容は多岐に渡りました。

(1) 介護制度利用援助 173件 (9%)	(4) ピア・カウンセリング 285件 (14%)	計：2002件
(2) 社会資源活用支援 869件 (43%)	(5) 専門機関紹介 10件 (0.5%)	
(3) 社会生活力向上支援 592件 (30%)	(6) その他 73件 (3.5%)	

立川市自立支援協議会

全体会：第1回 4月24日、第2回 10月2日、第3回 11月24日、第4回 2月26日

今年度は全体会の特色である多職種連携を活かすため、事例について直接委員から提案、意見を出す時間が設けられました。

各部会の支援困難な事例提供から、日々の支援の難しさと共に障害状況の特性も考えさせられる場面も多々ありました。このような事例検討から、支援現場や障害当事者、家族の生活の場で活かされる情報共有が出来る時間として、引き続き継続して欲しいと思いました。

地域生活支援拠点事業 コーディネーター

コーディネーター会議：4月27日(木)、5月25日(木)、6月22日(木)、8月3日(木)、8月24日(木)、9月21日(木)、10月26日(木)、11月21日(木)、12月21日(木)、1月18日(木)、2月22日(木)、3月21日(木)

今年度、福祉ホットラインでは登録頂いた9名の方へ相談支援を行いました。

ご家族以外の方と過ごすことが難しい方に向け、サービス利用による外出等につながるよう、事業所と連携して支援を行いました。また、通院同行や転院に向けた情報提供、年金や制度利用の申請手続き等のサポートも実施しました。

加えて、市報に掲載された情報を見てお問い合わせ頂いた方や、就労支援事業はたらき登録者の方の状況などをコーディネーター会議で共有しました。

立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例 相談窓口

今年度は肢体不自由の方から3件、知的障害の方から1件のご相談をいただきました。

肢体不自由の方からは、車いすでのりんバス利用時、運転手から差別発言を受けたとの相談があり、立川市障害福祉課へ報告し、今後の対応改善に向けた調整を行いました。また、オストメイトの方からは、柴崎福祉会館での入浴利用時の差別発言について相談を受け、当事者団体のけやきの会を紹介し、次の動きに繋げるようサポートしました。

日々の生活の中で起こる、様々な差別的な体験を発信して下さる皆さまの声を、今後も丁寧に受け取り次に活かせるべく対応して参ります。(鈴木 徳子)

●知的事業

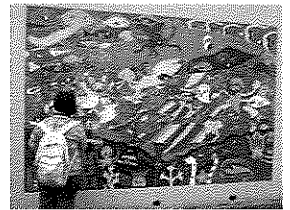
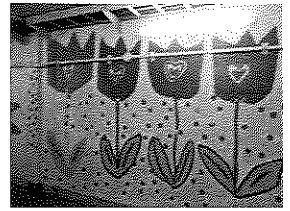
■うっちい散歩 アールブリュット壁面アート巡り (12月15日)

アールブリュット立川2023～高松からの風～の取材をした際、立川駅東地下道でのアートプロジェクトについて宣伝している映像を見たのがきっかけで興味を持ち今回見に行くことにしました。調べたところ、東地下道の他に、立飛でもウォールペイントプロジェクト「ドリームロード」をやっていることが分かり、2か所を巡ることになりました。

最初に行ったのは東地下道。オニ公園の手前にある、J R 線の線路下を通り抜けられるこの通路には、素敵な絵がたくさん描かれていました。一緒に取材に出かけた内山さんのお気に入り、チューリップの絵です(右写真1枚目)。色使いがカラフルですごくきれいだなと思ったそうです。

次に立飛に向かいました。場所は立川市役所と高松駅の間にある大きな壁面沿いです。こちらのプロジェクトは株式会社リアルエステートさんの協力で実現したそうで、作家さんたちにとって新しいチャレンジや喜びの場となるようにという思いが込められています。こちらの作品で内山さんが気に入ったのは、動物や虫たちが泳いでいる絵です(右写真2枚目)。たこや猫などの色々な動物が泳いでいるのが楽しそうで素敵だなと思ったそうです。

2か所を巡ってみて、普段何気なく通る様々な人が行き交う場所で、アートを通じて繋がりを持てることが素敵だなと感じました。



■生活家電を見に行こう！～種類や予算からひとり暮らしに必要な家電を見てみよう～ (2月17日)

これまでひとり暮らしのお部屋をテーマにしたプログラムをたくさんやってきました。不動産屋さんに協力していただいて開催した、お部屋の間取りや内見について学ぶプログラムや、ひとり暮らしに必要な家具や家電の置き方を考えるプログラムなどで、前回はIKEAに行って家具の値段を調べました。そんなお部屋プログラムも今回はついに最終回。ヤマダ電機に行き、あらかじめ決めた予算内で家電を買えるのかどうか見てみようという内容でした。

まずはひとり暮らしに必要な家電について、ひとり暮らし歴17年のサブリーダー泉口さんから説明。それをもとに、自分がひとり暮らしをするなら必要だと思う家電をチェックシートに記入。その後、予算を決めるための「軍資金くじ」を引き、25万円・28万円・30万円の予算が参加者に割り当てられました。その後はヤマダ電機に出かけ、チェックを付けた家電の値段を調べ、合計金額を計算。予算内におさまったか確かめ合いました。

参加された方々は、ご自宅で使っている家電と比べて、欲しい機能や見た目と値段のバランスを考えながら家電を選んでいました。真剣に悩み、時にはリーダーやサブリーダーに質問しながら決めていた姿がとても印象に残っています。最後に、リーダーとサブリーダーの感想を記載します。

リーダーの感想: プログラム楽しかったです。掃除機とか、洗濯機とかが色々あって、値段が高かったり、安かったりしました。テレビは大きいのもありました。でも、家には置けないなと思いました。置けるものを選んで買うのが良いと思います。

サブリーダーの感想: 参加者一人一人が欲しい家電を考えて、機能や値段を見ながら選んでいたのが良かったです。お部屋プログラムとしてはこれで一旦終わりにしたいと思います。次はひとり暮らしをするのにいちばん大事な「お金」についてのプログラムをやりたいです。(金井 春奈)



じりつせいかつぶ
自立生活部

ねんどしもはんきじぎょうほうこく
— 2023年度下半期事業報告 —

■おすすめスポット通信取材 「BASE☆298」

今回は、若葉町にある「BASE☆298」をおすすめスポットとして取材してきました。

BASE☆298は、立川バスのバス停「若葉町団地」からすぐの所にあります。ゆっくり本を読んだり、お友達と過ごしたり等自由に利用できる場所で、地域



住民が主体となって地域福祉アンテナショップ

としても運営しています。基本的に月曜日～金曜日の10時～16時に開いています。(例外あり) Wi-Fiや電源が使用でき、勉強やちょっとした作業をしている方もいらっしゃるということです。寄付で運営している場なため、利用には100円～の寄付が必要で、寄付のお礼として飲み物が提供されます。ピアノやギター、絵本などもあり、こちらも館内で自由に利用可能です。また、レンタルボ

ックス・レンタルウォールの取り組みも行っています。更に、毎月第4土曜日には「ごはん処298」、17時から不定期で「大ちゃん's Bar」など、臨時でオープンすることもあるそうです。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



(櫻井 未来)

■ピア・カウンセリングタイム～私と障害について～ (3月6日) 参加者6名

今回のピア・カウンセリングプログラムでは「私と障害」をテーマとし、ピアカウンセリングを通じて、普段なかなか向き合うことのない「自分の障害」について、あらためて見つめ直すことを目的に開催しました。

当日は6名の参加者とともに、これまで障害があつて嫌だったことを聴き合い、そして障害があつても楽しんでいることについて聴き合う時間を共有しました。障害とともに生きる自分と向き合い、それぞれを尊重し合う「仲間同士の支え合い」を実感した時間となりました。



(大石 幸治)

■介助ILプログラム～居心地の良い介助関係とは～ (2月21日) 参加者4名

これまで自立生活センターに長く関わってきた金在根氏による介助関係の研究から「障害者と介助者は共に生活を作っていくことを意図しながらも、それぞれに求めているものは居心地の良さである」ことがわかりました。そのことをヒントに、実生活での「居心地の良い介助関係を作るための場や工夫」を参加者で共有することを目的として介助ILプログラムを開催しました。

「居心地の良さ」について、介助の現場ではリラックスする空間をつくるために「音楽やテレビをつけている」「コミュニケーションを取っている」など、参加者それぞれに工夫していることを共有することができました。またロールプレイでは、現実的な介助の現場を再現して「介助者とのやりとり」に感じている「難しさ」を共有する機会にもなりました。困ったことも、仲間と話せば力になります。今後も生活の要となる介助について、より良い関係を築くためのヒントを見つける機会を作っていきたいと思っています。

(大石 幸治)

■たちかわ楽市出店 (11月11日)

コロナ禍があけ2回目となる「たちかわ楽市」。更に多くの市民の皆さんが足を運ばれ、物販、音楽、体験等とコンテンツも充実し熱気あふれるイベントでした。

協力員の皆さんと、当日はもちろんのこと、出店に向けた企画や準備の段階から検討を重ね、買出しも含め、様々な作業を共に取り組みました。



今年より飲食物の販売が可能になった為、「世界一の(愛のこもった♡インスタント)コーヒー」の販売を再開したいとの声を受け復活! また子ども達に喜んでもらえるよう風船のプレゼントを用意したり、えんぱわの皆さんの作品の物販をしたりと、当日の販売担当者ははてんてこ舞いの様子でした。

当初、コーヒーの売り上げが伸び悩みましたが、13時には完売するという盛況振りでした。

今後も協力員の皆さんと共に、益々地域とつながる活動を行っていききたいと思います。

(鈴木 徳子)

■能登半島地震 被災障害者支援募金活動 (3月8日) 参加者13名

2024年1月1日、石川県能登地方で起こった地震により各地で甚大な被害が発生しました。

被害の大きかった地域で暮らす障害のある方は

- ・重度の障害があるため1.5次避難、2次避難が難しい
- ・自宅や避難所で孤立している
- ・住み慣れたグループホームを離れなければならない
- ・必要な医療的ケアを受けるため入院せざるをえない
- ・毎日通っていた通所先に通えない

といった厳しい状況に置かれ、これまでの生活を取り戻すためにはまだまだ多くの支援が必要です。私たちができることを考え、

被災地の障害がある仲間へ届けるため、立川駅北口のペデストリアンデッキにて募金活動を行いました。

寒さの残る日ではありましたがお天気には恵まれ、職員や協力員の方だけではなく、みたく街かど自立センターのみなさんもお参加くださり、協力して活動しました。コロナ禍で大きな声を出す機会が減っていたため最初は息苦しさもありましたが、だんだんと喉も温まり、通行人の方へ募金を呼びかけたり、送金先を掲載したちらしを配布しました。

キャッシュレスの時代を迎えつつあるため不安もありましたが、当日の募金額は21,151円となり、事務所等に設置していた募金箱への支援も合わせて81,349円をNPO法人ゆめ風基金へ送金させて頂きました。今後も復興に関する情報を得ながら、募金活動に取り組んでいきたいと考えています。

(廣瀬 麻美)



●その他、2023年10月から2024年3月までに開催したイベント・行事●

- ・出前講座 (第一小、第二小、第三小、第四小、第八小、第九小、西砂小、若葉台小、一中、二中)
- ・視覚障害者交流会 (11月2日) ・新年会 (1月31日)

たちかわししょうがいしゃしゅうろうし えん

ねんと じぎょうほうこく

立川市障害者就労支援センター はたらこ — 2023年度 事業報告 —

[1] 登録者の状況(表参照)

利用問い合わせの総数は59件で、精神・発達障害者が約64%、身体障害者が7%、知的障害者が約24%、在職中の方からが約34%で、企業から障害のある従業員についての相談も4件ありました。

正式に新規登録した方は33名でした。知的障害者15名、精神障害者15名、身体障害者3名でした。利用登録された方の紹介経路は、支援学校などの高等部新卒者9名(6校)、福祉サービス事業所8名(うち定着支援事業から5名)、障害者職業センター4名、職業リハビリテーションセンター2名、医療機関1名、行政2名、ご本人から直接が7名でした。登録時の状況は、未就労の方が10名、在職中の方23名でした。

年間の就職は23件でした。仕事内容は、メール集配や軽作業も含めた事務系9名、小売店1名、施設清掃1名、福祉施設周辺業務2名、工場等の生産工程8名、物流倉庫等での仕分け2名でした。また、就職先として特例子会社が9件ありました。

一方、離職は13件で、トライアル雇用期間終了によるものが1名、会社都合によるものが1名で、その他の11名は自己都合によるものでした。内容としては転職希望4名、不調3名、転居によるもの1名、その他5名でした。離職後の状況としては再就職を果たした方が2名、在宅の方が10名、転居された方が1名でした。

また、年度末で登録終了した方は16名でした。福祉就労へ移行した方3名、転居された方5名、支援を利用しないとされた方6名、数年利用実績のない方2名についても終了させていただきました。

[2] 訓練等プログラム

市役所実習は5回実施し、9名が参加、うち3名の方が就職を果たされました。別枠で行っている市内通所施設利用者を対象とした年1回の市ゴミ袋セット作業には、市内B型2施設、市内A型1施設から6名の体験参加がありました。高齢者施設清掃実習は1回行い1名の参加があり、コロナ禍で休止となっていたらば一と職場体験実習を再開し1名の参加がありました。

[3] 利用者交流プログラム

・夕食会 知的障害の方を対象とした木曜日の夕食会は23回実施し、毎回平均約19.3名、年間のべ453名が参加されました。感染対策は継続しながらも、20名の人数制限はせず実施しました。

・お楽しみ会 知的障害の方を対象とした交流会として、「私だけのスケジュール手帳を作ろう!」、「素敵な文字を書こう!」の2回の会を実施しました。参加者はのべ51名でした。

・茶話会 精神・発達障害の方を対象にオンライン併用での会の茶話会を実施しました。1回目はテーマを定めず、2回目は「趣味や休日の過ごし方、ストレス解消法など」というテーマで実施し、オンラインもあわせて11名が参加されました。

とう ろく しや じよう きよう ねん がつ にち 登 録 者 状 況 (2024年3月31日)			
① 人 数	285 名		
② 性 別	男 性	200 名	女 性 85 名
③ 年 齢	10代	8 名	40代 44 名
	20代	106 名	50代 30 名
	30代	86 名	60代 11 名
④ 障 害	知的障害	202 名	精神障害 62 名
	身体障害	19 名	知的判定 2 名
⑤ 状 況	いっばんしゅうろうちゆう 261 名		
	就職準備等	24 名	ふくししせつつうしよふく (福祉施設通所含む)

(川崎 太郎)

せいかつかいごじぎょうしょ
生活介護事業所 えんばわ

えんばわの下半期の活動をご報告させていただきます。

12月20日(水)グリーンスプリングスにて行われているイルミネーションを見に行きました。これまでもメンバーさんからはグリーンスプリングスに行きたいと希望が出ていましたが、コロナ



のため、なかなか実現できませんでした。5類になったこともあり、キラキライルミネーションが映えているとのうわさも聞き、水曜メンバーで帰りに立ち寄る企画となりました。期待以上のイルミネーションに皆さん、大喜びでご自身の携帯に写真を撮っていました。短い時間でしたが、思い思いのロマンティックな夜をすごせたようです。



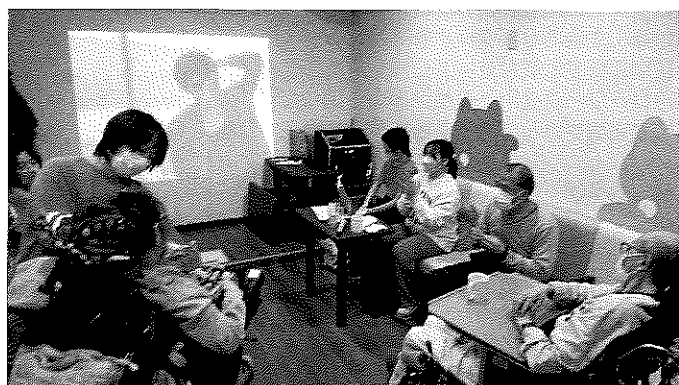
2月13日(火)にはえんばわから年2回ほどお願いしている「たまfunアート」松崎さんにお越しいただきました。今回は半透明の紙にクレパスなどで色を塗り、その紙を好きな大きさ、形に切って台紙に貼り付けるという創作活動でした。できあがった作品は個性が表れており、どれもとても素敵でした。今後も「たまfunアート」にご協力をいただき、個性を表現でき、認め合える創作活動を行っていきたいと思います。



3月4日(月)は北口にあるカラオケへ出かけました。実は、数か月前に別の曜日でカラオケへ出かけたことが忘れ渡り、「月曜チームも！」と声があがり、開催しました。

カラオケでは昭和歌謡あり、ロックあり、アニソンありと盛り上がりました。いつもはお話しされないメンバーさんが歌を披露され、職員も他のメンバーさんも驚くほど、お上手でした。

どの曜日のメンバーさんも歌や音楽がお好きで、大変楽しまれ、また行きたいとのことでした。



※外出の際は感染対策を行い、写真撮影時以外はマスクを着用しています。

(奥山 葉月)

私たちの動き (10/1~3/31)

() は担当部門名 C I L ・ H L ・ 就労 ・ えんぱわ

※印はオンライン

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・ りらく定例会 (10/19, 11/16, 12/21, 1/18, 2/15, 3/21)
- ・ 立川市指定特定相談支援事業所連絡会 (10/23, 1/24)
- ・ 立川市障害者施策推進委員会 (10/23, 1/26)
- ・ 立川市第5次長期総合計画市民ワークショップ
(10/23, 11/23)
- ・ 多摩療護園オンブズパーソン定例会 (10/26, 12/28, 1/25)
- ・ ホワイトラテ定例会 (10/26, 11/28, 1/18, 2/15, 3/22) ※
- ・ 立川市災害ボランティアネット定例会
(10/27, 11/24, 12/22) ※
- ・ T I L 相談支援サポートグループ (10/27, 12/22, 2/16) ※
- ・ 立川市障害を理由とする差別解消まちづくり協議会 (10/30)
- ・ 立川市人権学習事業実行委員会 (11/7, 12/10)
- ・ 立川市緑化推進協議会 (11/21)
- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
定例会 (11/22, 1/11) ※
- ・ りらくオンライン病院訪問 (11/30, 12/28, 1/25, 2/22, 3/28) ※
- ・ 障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
地区別懇談会 (1/10, 3/13)
- ・ 立川市交通結節推進協議会 (3/5)
- ・ たちせいれん (3/22)

(H L)

- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (10/2, 11/24, 2/26)
- ・ 立川市障害者週間実行委員会 (10/19, 11/16, 1/18, 2/15)
- ・ 立川市地域生活支援拠点等事業コーディネーター会議
(10/26, 11/21, 12/21, 1/18, 2/22, 3/21)
- ・ 立川市自立支援協議会相談支援専門部会 (11/17, 2/2)
- ・ 立川市地域生活支援拠点等事業所合同会議 (11/21, 3/21)
- ・ 立川市地域生活支援拠点等説明会 (3/6) ※

(就労)

- ・ 立川市自立支援協議会全体会 (10/2, 11/24, 2/26)
- ・ 東京労働局主催企業と就労支援機関との面談会 (10/12)
- ・ 多摩地域障害者就労支援事業実施団体連絡会 (10/26, 2/6) ※
- ・ 多摩職業リハビリテーションネットワーク
情報交換会 (10/27)
- ・ 立川市くらし・しごとサポートセンター主催
就労支援機関連携会議 (12/11)
- ・ 立川市自立支援協議会就労専門部会 (12/12, 2/27)
- ・ タラント主催連絡会 (12/21) ※
- ・ けるん主催ネットワーク会議 (1/30)
- ・ 東京都障害者就労支援関係機関意見交換会 (2/21)
- ・ ハローワーク立川主催雇用連絡会議 (2/22)
- ・ 多摩北部ブロック就労支援を考える会 (3/18) ※

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・ ヒューマンケア協会、C I L 日野、I L みなみ
Tama主催ピア・カウンセリングオンライン
長期講座 (10/6, 13, 20, 27, 11/10, 17, 24) ※
- ・ 障害福祉サービス等事業者に対する経営管理研修
(10/25 ほかオンデマンド) ※
- ・ 立川市総合防災訓練 (11/12)
- ・ 東京都障害者ピアサポート専門研修 (11/13, 22) ※

- ・ J I L 全国セミナー (12/19, 20, 21) ※
- ・ ゆめ風基金主催「B C P 研修会」 (12/20) ※
- ・ 立川市社福能登半島地震街頭募金活動 (1/19)
- ・ 考える会滝山病院学習会 (1/20)
- ・ 立川市障害者虐待防止センター学習会 (2/29) ※
- ・ 医療・福祉事業所内メンタルヘルスケア研修 (3/13) ※
- ・ T I L 学習会 (3/18) ※

(H L)

- ・ 立川市手をつなぐ親の会設立60周年記念講演会 (10/18)
- ・ 立川市障害者虐待防止センター学習会 (2/29) ※

(就労)

- ・ 自立支援協議会就労専門部会主催研修・交流会
(10/13, 27, 2/9)

- ・ 東京労働局主催就労支援セミナー (2/28) ※

(えんぱわ)

- ・ リズム&ストーリー
(多摩障害者スポーツセンターオンラインプログラム)
(10/23, 11/27, 12/18, 1/15, 2/19, 3/18) ※

【外部からの見学・研修】

(C I L)

- ・ 社会福祉士実習生受け入れ (立教大学)
- ・ ボランティア・市民活動センターたちかわ
登録団体ヒヤリング (12/1)
- ・ 東京学芸大学見学対応 (3/19)
- ・ 令和5年度東京都相談支援従事者初任者研修実習対応
(12/20, 26, 1/10, 15, 18, 24)

(えんぱわ)

- ・ 音楽活動 (国立音楽大学ボランティア受け入れ)
(10/13, 11/24, 12/22, 1/26, 2/9, 3/8)

【講師派遣】

(C I L)

- ・ J I L 関東ブロック (10/3) ※
- ・ 立教大学 (10/4)
- ・ 立川市子ども委員会 (10/15)
- ・ 明星大学 (11/17)
- ・ 東京学芸大学 (12/19) ※
- ・ 探求学習介護ラボ (1/18)
- ・ 永福学園 (1/22)
- ・ 考える会1地区民生児童委員との研修会 (1/26)
- ・ ヒューマンライブラリー立川 (3/2)

★ ご寄付等、ありがとうございました ★

- ・ 幕内 昌佐江 様 ・ 鈴木 マサ子 様 ・ 中野 敏子 様
- ・ 高柳 君江 様 ・ 高柳 一枝 様

とくでいひ えいりかつどうほうじん じりつせいかつ たちかわ
特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-10-16 材ビル2F
TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3134
URL : <http://cilt.sakura.ne.jp/>
Mail : cilt@sh.rim.or.jp